

令和5年度県図協セミナー(第4回)開催要項

- 1 テーマ 「デジタルシティズンシップと図書館」
- 2 趣 旨 情報技術の利用における適切で責任ある行動範囲と図書館の関わりについて学ぶ機会とする。
- 3 主 催 岡山県図書館協会
- 4 開催日時 令和6年1月31日(水) 13:30~15:30 (受付 13:00~)
- 5 受講方法 来場による受講又はオンライン受講 (Web 会議システム「Zoom」を使用)
- 6 会 場 岡山県立図書館 2階 多目的ホール
※オンライン受講は職場・自宅などでインターネット環境のあるところ
- 7 対 象 岡山県図書館協会の個人会員及び施設会員館に所属する職員等
- 8 定 員 来場による受講 定員：80名程度 (先着順)
Zoomによる受講 定員：100名程度 (先着順)
(入会希望の方で令和6年1月16日(火)までに会費を納入できる方を含む)
- 9 参加費 岡山県図書館協会の個人会員及び施設会員館に所属する職員は無料
それ以外の方1,000円 (当日御持参ください)
- 10 日 程 13:00~ 受 付
13:30 開 会
13:30~15:30 講 義
「図書館とデジタル・シティズンシップを考える」
講師：坂本 旬 氏 (法政大学キャリアデザイン学部教授)
15:30 閉 会
- 11 申込方法 来場による受講
インターネット (参加申込フォーム) または FAX (別紙参加申込書) で事務局までお申込みください。
① インターネット (参加申込フォーム) : 岡山県図書館協会ホームページ
② FAX : (086) 224-1208

【講師略歴】1959年生まれ。東京都立大学大学院教育学専攻博士課程単位取得満期退学。教育系出版社や週刊誌などの編集者を経験したのち、朝日新聞社、毎日新聞社を中心に雑誌執筆者として活躍。1996年より法政大学教員。現在はキャリアデザイン学部教授として図書館司書課程を担当。法政大学図書館司書課程はユネスコ・メディア情報リテラシーと異文化対話大学ネットワーク (UNITWINMILID) および国際メディア情報リテラシー研究所の担当機関として『メディア情報リテラシー研究』の発行を行っている。



Zoomによる受講

Zoom 視聴用の URL はメールでお送りしますので、インターネット（参加申込フォーム）でお申込みください。（FAX ではお申込みできません。）

※申込時にご記入いただいた所属・職名・氏名は講師に提供いたします。

※ご記入いただいた所属・職名・氏名は参加者名簿として参加者に配付する場合があります。

- 12 問い合わせ先 **【岡山県図書館協会事務局】**
〒700-0823 岡山市北区丸の内 2-6-30 岡山県立図書館 図書館振興課内
TEL : 086-224-1269 FAX : 086-224-1208 E-mail : kento01@pref.okayama.lg.jp

- 13 申込期限 **令和6年1月17日（水）**
※定員を超えた場合は、締切前でも受付を終了いたします。参加可能な場合は通知しません。

- 14 その他 来場による受講
留意事項・駐車場は有料です。（1時間100円）ただし、認証を受けると1時間のみ無料になります。

Zoomによる受講

・Zoom 視聴用のログイン ID 等は後日、参加申込された方にメールでお送りします。

（開催日 2 日前までにメールが届かない場合はお手数ですが、上記「問い合わせ先」にご連絡ください。）

・Zoom 視聴時、原則ビデオを ON（自身の顔が見られる状態）にし、発言者以外は必ずマイクをミュートに設定してください。

（同室内で複数のパソコン等から参加される場合、ハウリング等の音声トラブルを起こす可能性があるため、イヤホンマイク又はヘッドセットのご利用を推奨します。）

・Zoom のアプリは最新版への更新をお願いします。

・原則、固定カメラにより撮影しますので、視聴しにくい面があることをあらかじめご承知おきください。

・通信料金は参加者の負担となります。

・通信環境や使用機器等によっては予定どおり受講できない可能性があります。受講者側のトラブルにより受講できない場合、当協会は責任を負いませんので、あらかじめご承知の上でお申し込みください。

※参加申込をされた方に後日 YouTube により限定公開します。当日の来場又はオンライン受講が難しく、YouTube でご覧になりたい方の参加も可能です。その場合も必ず参加申込をしてください。URL は改めてお知らせします。

【来場による受講】

※申込時に収集した個人情報については、県立図書館において厳重に管理し、当事業の申込受付のみに使用いたします。

※講座中は部屋の換気を行っていますが、室温の調整が難しい場合もありますので、各自衣服の調整をお願いします。